

## 第2節 市街地整備

### (1) これまでの主な取組

- ・ 所沢駅周辺グランドデザインを策定しました。また、所沢駅周辺グランドデザインに示す街の理想像を実現するための取組として、街なかでの社会実験を含む「TOKOROZAWA STREET PLACE」を実施しました。
- ・ 土地区画整理事業の実施とあわせ、準防火地域の指定を行いました。また、ファルマン通り交差点改良工事を実施し、歩道や信号待ちのスペースを広げました。
- ・ 良好な住環境の整備・保全を図るため、建築協定から地区計画への移行を進める協議会に対する支援を行いました。
- ・ 駅周辺における土地利用の活性化に向けて、事業者との調整を図りました。

### (2) 課題

- ・ 街なかのパブリックスペースなどを活用しながら官民が連携して街づくりを進めるにあたり、庁内横断的な取組や街づくりのプレイヤーの発掘、土地オーナーを主体とした魅力ある街なかづくりを進める組織が必要です。
- ・ 住宅密度が高い既存の市街地における防災性を向上する必要があります。また、市街地再開発事業等を実施する際は、前面道路の拡幅整備や交差点改良の実施を検討し、車両や歩行者の安全性を更に向上させる必要があります。
- ・ 開発行為や中高層建築物等の建築等に対し、引き続き適正な指導を行う必要があります。
- ・ 市域の拠点となる駅周辺の活性化につながる取組について、検討していく必要があります。
- ・ 新所沢駅・小手指駅での大規模商業施設の閉店により、この地域のまちづくりについて検討する必要があります。
- ・ まちの中心部に残された貴重な市有財産である旧市庁舎や文化会館跡地が活用されていない状態であり、その活用方法や周辺まちづくりについて検討する必要があります。

### (3) 評価指標

指標名	単位	現状	目標
所沢駅の1日平均乗降客数	人	R5	R10
		101,123	118,000
説明	中心市街地のにぎわいの度合いを、本市の表玄関である所沢駅の利用状況を用いて示す指標です。 数値は、所沢駅の1日における平均乗降客数です。		
目標	令和10年度までに118,000人以上をめざすものです。 (所沢駅周辺で行っている市街地開発事業によって作られる集客性の高い施設に訪れる人数を現状値に加えて目標値を設定しています。)		